

地域医療学A (Community Medicine A)					担当教員	
					講師	今西 孝至
					非常勤講師	小林 篤史
					非常勤講師	砂川 雅之
					非常勤講師	吉岡 睦展
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等		
薬学専門教育（講義）	4年次 後期	講義	1.5単位	必修		

【概要】

近年、日本は、高齢化社会の到来により、地域における医療及び介護の総合的な確保が必要となり、地域包括ケアシステムの整備が進められているところである。薬剤師は安全かつ有効な医薬品の供給、そして地域医療及びセルフメディケーションへの貢献が求められている。本講では地域医療、地域包括ケア、地域薬局における薬剤師の役割、セルフメディケーション、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、地域医療連携と在宅医療の実践について講義する。また、この講義は対面講義7回、中継講義7回で実施する。

【授業の一般目標】

地域医療、地域医療連携、地域薬局、OTC医薬品の基本的な知識を修得し、コミュニティから見た薬局及び薬剤師の活動について理解する。□□□

〔関連する卒業認定・学位授与方針〕DP4

【準備学習(予習・復習)】

次回の学習項目に該当するテキスト箇所を読んだ上で講義に臨むこと。講義で配付された資料や板書を元に復習すること。予習と復習には一週あたり150分の学習が必要である。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	地域医療Ⅰ 地域医療と社会福祉，地域包括ケアシステム	今西	地域医療、社会福祉及び地域包括ケアの理念について説明できる。	B-(4)-②-1
2	地域医療Ⅱ 地域の保健・医療・福祉（介護）において利用可能な社会資源	砂川	地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる。	B-(4)-②-4
3	地域医療Ⅲ 地域の医療提供施設、福祉施設及び行政との連携	砂川	地域から求められる医療提供施設、福祉施設及び行政との連携について説明できる。	B-(4)-②-5
4	地域医療Ⅳ 在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割	砂川	在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる。在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容、患者の特色と背景を説明できる。地域における介護サービスや介護支援専門員等の活動と薬剤師との関わりを説明できる。	B-(4)-②-2
5	地域薬局Ⅰ 地域薬局と医薬分業、かかりつけ薬局	砂川	地域における薬局の機能と業務について説明できる。医薬分業の意義と動向を説明できる。かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義について説明できる。	B-(4)-①-1, 2, 3, 6
6	地域薬局Ⅱ 学校薬剤師の役割	砂川	学校薬剤師の役割について説明できる。	B-(4)-②-3
7	地域薬局Ⅲ セルフメディケーション	砂川	セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる。地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を概説できる。	B-(4)-①-4 E2-(9)-1
8	地域薬局Ⅳ 一般用医薬品及び要指導医薬品（1）	砂川	一般用医薬品及び要指導医薬品（リスクの程度に応じた区分（第一類、第二類、第三類）も含む）について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる。	E2-(9)-2
9	地域薬局Ⅳ 一般用医薬品及び要指導医薬品（2）	砂川	代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる。一般用医薬品及び要指導医薬品の選択、受診勧奨の要否を判断するために必要な患者情報を収集できる。	E2-(9)-3 E2-(9)-4
10	地域薬局Ⅳ 一般用医薬品及び要指導医薬品（3）	砂川	以下の疾患・症候に対するセルフメディケーションに用いる一般用医薬品及び要指導医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙で	E2-(9)-5

			きる。 発熱、痛み、かゆみ、消化器症状、呼吸器症状、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病 等	
11	地域薬局Ⅳ 一般用医薬品及び要指導医薬品（４）	砂川	一般用医薬品及び要指導医薬品と医療用医薬品との代表的な相互作用を説明できる。要指導医薬品・一般用医薬品等による治療効果と副作用を判定するための情報を収集し評価できる。	E2-(9)-8
12	地域薬局Ⅴ 栄養機能食品、特定保健用食品、機能性表示食品及びいわゆる健康食品	砂川	主な養生法（運動・食事療法、栄養機能食品、特定保健用食品、機能性表示食品及びいわゆる健康食品を含む）とその健康の保持・促進における意義を説明できる。 医療用医薬品と栄養機能食品、特定保健用食品、機能性表示食品及びいわゆる健康食品との代表的な相互作用を説明できる。	E2-(9)-6 E2-(9)-7
13	地域医療の実践Ⅰ 地域医療に対する病院薬剤師の実践	吉岡	地域医療連携における病院薬剤師の実践的な事例を学び、将来の地域医療を担う病院薬剤師の役割について模索する。	F-(4)-①-3, 4, 5 F-(4)-②-1, 2
14	地域医療の実践Ⅱ 地域医療に対する薬局薬剤師の実践	小林	在宅医療での薬局薬剤師の実践的な事例を学び、将来の在宅医療における薬剤師の役割について模索する。	F-(5)-①-1, 2, 3, 4, 5
15	総括・まとめ			

【実務経験】

今西孝至

業種：その他（病院・薬局）

学習項目No.	その経験を生かして、どのような教育を行なうのか。
1	病院薬剤師および薬局薬剤師として医療現場で従事していたので、この経験をもとに、これから地域医療で必要とされる薬剤師の役割（特に地域医療における多職種連携）について具体例を挙げながら、医療現場をイメージできるような講義を行う。

砂川雅之

業種：薬局

学習項目No.	その経験を生かして、どのような教育を行なうのか。
2～12	保険薬局の保険薬剤師として処方箋調剤における薬学管理及び指導に携わり、またOTC医薬品の販売に対しても病態把握、医薬品選択、使用上の指導等の実務を行ってきた。その経験年数は1980年から2008年の28年間に及ぶ。また、ここ14年間厚生労働省近畿厚生局の保険指導薬剤師として保険薬局及び保険薬剤師の指導にあたっていた。これらの経験をもとにして、地域医療における地域薬局の役割等をOTC医薬品を中心に、セルフメディケーションを中心とした地域医療について講義を行う。

吉岡陸展

業種：病院

学習項目No.	その経験を生かして、どのような教育を行なうのか。
13	製薬会社営業勤務（社内トップセールス）を経て、1990年より病院薬剤師として現在の薬剤管理指導業務の礎に尽力。中でも感染症領域のチーム医療に注力。2013年地域医療支援病院の承認を受けるタイミングで地域医療連携部へ異動。昔取った杵柄で地域医療機関とのネットワークを築き、2016年からは地域医療を担う病院薬剤師としてポリファーマシー対策を地域を巻き込んで実践。経験を基に多職種から求められる薬剤師の本質について講義を行います。

小林篤史

業種：薬局

学習項目No.	その経験を生かして、どのような教育を行なうのか。
14	かかりつけ機能とは「防ぐ（一次）→治す（二次）→支える（三次）」のフローで説明されます。その中で在宅医療とは「支える（三次）」の時期です。多職種と連携し生活（よりよく生きる・居る・生きる・逝きる）と寄り添い、その人の生き方の一部を共有することが大切です。病気や障害があっても、強みを生かし、環境を整えれば最期まで健康な生活、健康な人生を送れることを支える医療＝在宅医療について一緒に学びましょう。

（書名）

（著者・編者）

（発行所）

教科書 詳説薬剤経済学第4版

砂川雅之 その他

京都廣川書店

【成績評価方法・基準】

定期試験にて100％評価する。

【評価のフィードバック】

講評は、manaba上で公開する。